

◆参加費

- * 会員 2,000 円 両親参加 3,000 円
- * 非会員 2,500 円 両親参加 4,000 円
- ◎ 弁当代 700 円(子ども用 500 円)
- ※ 申し込み〆切 1月 27日(土)
- ※ キャンセルは 2月 3日(土)までとします。

◆会場

春日市クローバープラザ

〒816-0804 春日市原町 3-1-7
 (財) 福岡県地域福祉財団 施設利用課
 TEL(092)584-1212・FAX(092)584-1214

<交通のご案内>

- ◆ JR「春日」駅より徒歩約2分
- ◆ 西鉄電車「春日原」駅より徒歩約10分
- ◆ 西鉄バス「千歳町2丁目」バス停より徒歩約1分
- ◆ 九州自動車道太宰府ICより車で約15分

<お願い>

- 会場はJR春日駅前です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- クローバープラザ内の有料駐車場
 (2時間無料、以後30分につき150円かかります)をご利用下さい。いずれも現地係がご案内します。
- 大型バス、マイクロバスでのご来場の方で、駐車場が必要な場合は、別途準備いたしますので事前にご連絡ください。

◆申し込み方法

* 参加申し込み・送金は下記まで
 参加費(必要な方はお弁当も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、その控えのコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、FAXか普通郵便でお送りください。

●参加申し込み先

〒805-0067 福岡県北九州市八幡東区祇園 2-4-22
 TEL093-662-6000 FAX/093-662-6006

送金先: 福岡県学童保育連絡協議会

<郵便振替口座 01730-2-132265>

●あそびの広場: 保育(4才以上)の代わりに行います。参加申し込みと合わせて申し込みをしてください。(先着60名)

保険料とおやつ代の700円を当日いただきます。

* 申込受付後、受講票を送ります。当日ご持参下さい(受講票はお弁当の引き換え券と領収書となっています。)

会場地図



第36回

福岡県学童保育研究集会

「ただいま〜」「またあした！」
 つながろう 子どもたちの未来のために
 ~保護者・支援員・地域 三つの輪~

記念講演



「今を生きる子どもたち」
 ~子どもの心を理解するには~

講師 広木 克行 (神戸大学名誉教授)

◆とき 2018年 2月12日(月)

午前9時40分~午後4時

◆ところ

春日市クローバープラザ

主催 ■ 福岡県学童保育連絡協議会

後援 ■ 福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・朝倉市・飯塚市・糸島市・うきは市・大川市・大野城市・大牟田市・春日市・古賀市教育委員会・田川市教育委員会・筑後市・筑紫野市教育委員会・中間市・直方市・みやま市・宮若市・宗像市・柳川市・行橋市教育委員会・芦屋町・宇美町・大木町・大任町教育委員会・岡垣町・遠賀町・粕屋町教育委員会・川崎町・香春町・鞍手町・桂川町・小竹町・篠栗町教育委員会・志免町・新宮町・添田町・大刀洗町・久山町・広川町

日 程

9:20 9:40 10:10 10:30 12:05 13:00 16:00

受付	開会行事	特別報告	記念講演	昼食	分科会
----	------	------	------	----	-----

記念講演

<プロフィール>



『今を生きる子どもたち
～子どもの心を
理解するには～』
広木克行(神戸大学名誉教授)

1945年、樺太生まれ。東京都立大学卒。東京大学大学院博士課程単位取得、教育制度論、臨床教育学専攻。長崎総合科学大学教授、神戸大学教授、大阪千代田短期大学学長を経て、現在、神戸大学名誉教授。日本臨床教育学会理事。登校拒否を考える親の会相談員。主な著書『子どものシグナル見えますか』『子どもが教えてくれたこと』『人が育つ条件』『子育ては素敵なこと』『学び合って子育て』『親と子の絆を深め合う道程(みち)』『ありのままでもいいんだよ』(以上、北水)『手をつなぐ子育て 思春期を見通して』(かもがわ出版)『教育相談』(学文社)『赤ちゃんの知能を伸ばす脳育あそび150』(メイツ出版)『子どもは「育ちなおし」の名人!』(清風堂書店)

分科会 13:00~16:00

■テーマおよび内容

分科会	テーマ	分科会内容	助言者
1	災害と学童保育 「こころの支え」	2017年7月に九州北部豪雨が発生しました。災害による日常生活の変化や大人達が抱えるストレスは、それを目のあたりにしている子ども達に今後どのように影響していくのでしょうか。また私たちはどのように支援していけばよいのでしょうか。東日本大震災の経験をもとに学びあいましょう。	池川尚美 (宮城県学童保育緊急支援プロジェクト)
2	保護者会～子どもをまん中に保護者と支援員と手をつなぎあう～	我が子が通う学童保育！子どもにとっては安心して自分らしく成長しホッとできる生活の場。親にとっては学童に元気に通ってくれることで安心して働ける。そのことを柱に保護者と支援員が信頼関係を築き学童の事、子どもたちの事を考え合う集団となる保護者会を皆さんと考えてきましょう。	よりどりちどり館保護者会
3	行政と学童保育	学童保育は、国の新制度により、大きく変わりつつあります。「放課後児童クラブ運営指針」も国から示される中、学童保育の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにし、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあいます。また、民間企業が指定管理者となる自治体も生まれる中で、学童保育運営のあり方を考えることが重要な課題となっています。	森元茂利 (福岡県連事務局長)
4	ワークショップ「支援員の仕事～やりがいのある仕事」	学童保育現場では様々な事が起こり、良い時もあれば、時には悩み落ち込んでしまうこともあります。それでもわたしたち支援員が働き続ける理由はなんでしょう。みなさんとその理由を出し合い「放課後児童支援員としてやりがいのある仕事」は何なのかを考え合いましょ。	吉岡美保 (遠賀町放課後児童支援員)
5	発達障害の理解 ～学童だから出来る事～	発達障がいの子どもの特性を理解し、保護者・支援員のかかわり方で大切にしたい事を学び合う。日頃、学童や家庭で悩んでいる事を出し合い実践に生かせるようにする。(人数制限有 先着35名)	中山健 (福岡教育大学)
6	感覚統合	感覚統合を知ろう！人間の感覚には、既によく知られている五感(触覚、視覚、聴覚、味覚、嗅覚)に加えて、固有受容覚(手足の状態・筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚)、前庭覚(身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚)といった合計7つの感覚があります。次々と身体に入っていくこの7つの感覚を整理したり分類したりするのが感覚統合です。この仕組みを知ることで、子どもたちの行動に対する困った感が楽しい！に変わるかも！！	古野優子 (作業療法士)
7	どの子ども楽しく過ごせる空間づくり～広汎性発達障害の子どもの理解～	広汎性発達障害とは？異年齢集団の中で子どものよくある行動に対して「どのように理解して、どのように対応をするべきか」「何をしなければならないのか」集団生活が苦手な子どもを理解し、障がいがあるなくても無くて共々に育ち合い、どの子ども楽しく過ごせる空間づくりを学ぶ。	田中裕司 (別府教育事務所合理的配慮アドバイザー)
8	性を理解する	小学校1年生から6年生まで、幅広い発達段階の子どもを対象にしている学童保育ですが、近ごろ性の問題が聞かれるようになってきました。参加の皆様のご経験や戸惑いをまずは共有し、性に関する基本的な知識と考え方を身につけ、子どもたちの現実の性の課題に対応できる動きや環境作りを皆様と一緒に編み出していきたいと考えます。	松浦賢長 (福岡県立大学)
9	あそびの広場 (大人先着 30名まで)	あそびは子どもの「主食」です。そして、指導員の専門性のひとつは「遊び人」であること！？あそびの“ネタ”ではなく“タネ”を育む何かを、子どもたちと実際にあそびながら見つけていきましょう。	あそひろスタッフ
10	子どもの心に寄り添う絵本の世界、読み聞かせ	絵本は、子どもの心に寄り添う世界が描かれています。そんな絵本のひと時の中で、子どもは幼い頃、明日を生きるのに必要な心の充実や支え、大人との絆の深まりといった喜びを得てきました。改めて、子どもとの間に絵本を開いてみませんか？「小学生なのに？」なんて心配はいりません。ただただ、愛を込めて開いてみてください。愛が籠るひと時が、子どもの心にも大人の心にも喜びをもたらし、その喜びが、希望を持って明日を生きていこうとする力を生み出していくことなのでしょう。	高木勲 (絵本研究家)
11	子どもの荒れ	子どもの荒れは一人ひとり様々な背景や発達や成長がまじりあっていて難しい問題です。そんな子ども達も学童保育で安心して生活を保障してあげるには何が必要でしょうか。いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊、少年犯罪など、今日の子どものめぐる状況を明らかにし、子ども理解を深めることの大切さや子育て支援を学びます。	北口徹一 (福岡民教連)
12	食物アレルギーの知識と対応の仕方	おやつや食事の提供など学童保育の生活づくりの実際や課題を交流し、アレルギーの基礎知識と基本的な対応、子どもの安全を守るうえで欠かせない視点を保護者と支援員が共に学びます。	岩崎七々枝 (アレルギーエデュケーター看護師)